

ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター



(公社)佐倉市シルバー人材センター
ホームページ

佐倉市シルバー人材センター⇄四街道市シルバー人材センター

刃物研ぎ班がつなぐ 技の交流



令和6年4月12日(金)、四街道市シルバー人材センター(以下「四街道市 SJC」)の新規事業検討委員および事務局職員、計6名の皆様が、佐倉市シルバー人材センター(以下「佐倉市 SJC」)を見学されました。今回の訪問は、四街道市 SJCが刃物研ぎ業務の新規立ち上げを検討する中で、当センターへ協力のご依頼があったことがきっかけです。

当センターでは、刃物研ぎ班の西牧さんが窓口となり、快く協力を引き受けられました。新会員向けの研修制度(刃物研ぎ師養成講習)が整っていることから、四街道市 SJCの皆様にも同様の内容で研修を実施しました。*新会員の

育成の為に「刃物研ぎ師養成講習テキスト」は令和4年5月に当センターで作成されました。

研修は、1か月間・週2回のペースで2回行うシステムで、令和7年1月にすべて終了しました。なお、顧客対応の方法、砥石等の資材調達、巡回サービスのノウハウといった内容については一部継続中ですが、研修は概ね完了しております。

受講された四街道市 SJCの皆様からは、「参加者一同、大変感動いたしました。技術だけでなく、取り組む姿勢にも多くを学ばせていただきました。他センターとの交流を通じて得た学びを、少しでも当センターの活動に生かし、それがご指導くださった西牧さんをはじめ、佐倉刃物研ぎ班の皆様への恩返しになればと思っています」との、嬉しいお言葉をいただきました。



さんをはじめ、佐倉刃物研ぎ班の皆様への恩返しになればと思っています」との、嬉しいお言葉をいただきました。



グラインダー 一番最初
に刃を作る作業



砥石を使って、慎重に
研いでいきます。



持ち手の部分も丁寧に
磨いていきます



四街道市シルバー人材センター刃物研ぎ班の皆さん

西牧さんは、「反復作業の積み重ねによって技術が身につきます。今回は、作業班員の技術向上・伝承の取り組み方や、技術の奥深さ、丁寧な作業の大切さを見ていただき、少しでも研修の役に立てればという思いで臨みました」と、満足げな笑顔で語ってくださいました。なお、研修中に中央公民館で提供された「そば打ち」のそばを召し上がった四街道市 SJCの会員の方が、その味に感激されたとのこと。後日、砥石の購入などで佐倉を訪れた際にも立ち寄って、そばを楽しまれているそうです。

佐倉市 SJCの活動が、地域を越えた交流と技術の継承につながる一助となったことを、大変嬉しく思います。

広報委員 辰巳 くにか

会員の活動

仕事紹介

学童保育補佐員

この仕事は小学生が下校してから保護者が子どもを迎えに来るまでの間、無事に過ごせるように見守ることです。

特に春夏冬の学校の休みの時期には仕事の依頼が多くなります。学童職員の協力で先生方の目が届きにくい所を、見守りサポートを行ないます。



時にはグラウンドで子ども達と一緒にボール遊びをしたり、教室でトランプや将棋、工作をする時もあります。



子ども達も遊びに熱中するあまりに友達と一触即発状態になることもありますが、お互いに話し合って納得できる解決策を見つけるよう促したりします。



この学童で、気の合った友達を見つけて遊ぶ姿を見たりするとほほえましくも思えます。子ども達の発想から色々と教わったり刺激を受けることも多くて楽しく働いています。

皆さんもこの仕事に参加しませんか？

もし興味がありましたら事務局までお問い合わせください。一緒に働きましょう。

広報委員 秋元 正之



一期一会を胸に、バレーとともに歩む日々

事務局担当の福田敏子さんよりお話を伺いました。

「とても好きな言葉は『一期一会』。人とのお付き合いを大切にしたいと思っています」——目を輝かせながら語ってくださった第一声が、とても印象的でした。

令和6年6月に入会され、現在はシルバー人材センターで植木班の事務を担当されています。まさに「一期一会」という言葉の通り、人との出会いを何より大切にされている方です。

趣味はバレーボール。昭和39年の東京オリンピックで「東洋の魔女」に憧れ、中学・高校と続け、その後もママさんバレーへと活動の場を広げてられました。



現在もシニアチームでプレーを続けており、「80歳を超えても現役の方がいらっしゃるんですよ。私もがんばらなくちゃ！」と笑顔で語っていただきました。その言葉からは、力強いエネルギーが伝わってきました。また、かつてはカートの耐久レースにも挑戦されたとのこと。



。「今は体がガタガタで…」と笑いながらも、その若々しい行動力には驚かされます。働くことも、遊ぶことも全力で楽しむ——そんな姿勢が輝く、まさに理想のシニア会員です。

広報委員 辰巳 くにか

女性委員会主催 お肌いきいき美容教室

『美意識は人であり、価値観は十人十色！…』

令和7年10月7日、13:30時から15:00時まで、ワークプラザにて



女性委員会は、「美と健康」をテーマに取り組んでいます。会員皆様の「いつまでも美しく！美への探求心は、永遠！のもの」を実現するため、また、美とは誰かに見せるものではなく、自分自身が心地よくあるための想い、女性委員会で今年度初めての研修会を開催しました。

参加者は、シルバー会員8名、外部参加4名。ヤクルト化粧品企画課から講師の方6名様への応援で前半講義、後半は一人一人丁寧な効用と効果を説明しながら実体験の2部構成でした。参加者の皆様本当にありがとうございました。

女性委員会 委員長 山崎 博己



【お手入れのワンポイントアドバイス】



- ☆ダブル洗顔で汚れ落とし
油性、水の汚れをきっちり落とす
- ☆肌によくないのでこすらない!!
- ☆よく泡立てる→汚れが落ちる
- ☆綿100%のコットンを使って化粧水は、
500円玉程度に染み込ませると良い

【メイクのワンポイントアドバイス】



- ～手をかけると答えてくれる！～
- ☆アイメイク
目を大きくするため、驚いた顔を練習をする
シャドーは、軽く入れる
- ☆基本は、目の下から頬のメイクをしっかりと！
それ以外は、自然になじませるように



約70年以上乳酸菌を研究してきたヤクルトからのうるおい成分にこだわったスキンケアの新提案と乳酸菌由来の成分配合の基礎化粧品説明に始まり、お肌のお手入れの仕方へと話が進みます。



参加者の感想

- ◎自分で言うのもおかしいけど、綺麗になり嬉しかった！
- ◎説明が丁寧で楽しかった。
- ◎メーキャップをして皆さんが生き生きして満足されていた。
- ◎あきらめていたお肌の見直しができてよかった。
- ◎ありがとうございました。皆さんメイクに大喜びでしたね。
私もちゃんとメイクしなきゃ。

わたくし達プラチナ世代、普段じっくりと向き合えない「キレイ」をゆっくりと吸収できた時間だったのではないのでしょうか。

広報委員 土田 祥子

皆さんは、佐倉に坂が多いのをご存じでしたか？

数々の坂には歴史を感じさせる名前がついています。今日はシルバー人材センターからの坂道散歩をしてみましょう！



ひよどり坂

らく歩くと見えてくるのが「薬師坂」。左のお堂に手を合わせてから上って行きます。まもなく武家屋敷に向かう道。そして「くらやみ坂」、昔は本当に暗かったのでしょうね。

いよいよ武家屋敷を超えて佐倉の一番メジャーな坂、「ひよどり坂」に着きました。しばらく降りると、もう足ががくがくのども乾いて一休み一休みと思う頃にベンチがあります。

シルバーの門を出てから旧佐倉街道を西に進むと、北年貢道。この昔を感じさせる名前の道を右にしば



くらやみ坂

振り返れば、ベストフォトポジション！竹林の美しさに古武士の姿を重ねてみてください。城址公園の坂、市役所周りの坂、重願寺の坂、行きたいところはたくさんあります。佐倉の坂を載せたリンクを貼っておきますので、参考にしてください。

佐倉坂道散歩



ひよどり坂



佐倉城下の坂巡りNPO
法人まちづくり支援ネットワーク



佐倉市動画公式チャンネル 全力坂

おまけ

最後に京成佐倉駅から岡山食堂の前を通り、シルバー人材センターに向かう坂のご紹介。これは、確かに急な坂です。「心臓破りの坂」と名付けた会員さんがいらっしゃいます。いつもご苦労様です。

皆さん、秋のひと時、佐倉の坂を訪ねてみませんか？

広報委員 葛西 雅子

「ハローシニア佐倉」は令和8年4月号より、佐倉市シルバー人材センターのホームページにてお届けするかたちへと変わります。紙面でのご案内は終了となりますが、これからも皆さまとのつながりを大切に、変わらぬ思いで情報を発信してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

広報委員会